

COC/COC+シンポジウム2018

地域課題の解決と大学の役割 — 地域と大学の連携を中心に —

日時 2018年 **2月8日** [木]
15時～18時(受付14時～)

会場 **松山全日空ホテル**
南館2F サファイアールーム

愛媛大学、今治明德短期大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学の6大学は、地方公共団体や企業等と連携して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、地域が求める人材育成に必要な教育カリキュラムを改革する事業に取り組んでいます。

講演では、地域課題の解決のために大学が協働して取り組むことに関して事例を紹介いただくと同時に、とくに自治体との連携、大学間の連携について問題提起をしていただきます。

自治体からの報告および大学と自治体との取組の紹介を受け、パネルディスカッションでは、COC+事業に取り組んでいる各大学のパネリストを加えて大学間の連携の現状と課題についても意見交換します。

プログラム

15:00～15:05

開会挨拶

愛媛大学長 大橋 裕一(5分)

15:05～16:05

基調講演(60分)

帝京大学経済学部教授 山川 充夫 氏

「地域課題の解決と大学の役割

— 地域と大学の連携を中心に —

16:05～16:45

自治体からの報告および大学と

自治体との取組の紹介(40分)

愛媛県企画振興部地域振興局地域政策課長

..... 山本 泰士 氏

松山市総合政策部地方創生戦略推進室

..... 田中 教夫 氏

今治明德短期大学地(知)の拠点整備事業推進室室長

..... 野方 円 氏

愛南町水産課長..... 赤岡 政典 氏

(休憩)

16:55～17:55

パネルディスカッション(60分)

「自治体と大学との連携、大学間の連携の現状と課題」

パネリスト

山川 充夫 氏

山本 泰士 氏

田中 教夫 氏

野方 円 氏

赤岡 政典 氏

愛媛大学理事・副学長 仁科 弘重

松山東雲女子大学副学長 善本 裕子

聖カタリナ大学人間健康福祉学部長 恒吉 和徳

今治明德短期大学幼児教育学科長 寺川 夫央

コーディネーター

愛媛大学教授(COC+推進コーディネーター)

赤間 道夫

17:55～18:00 閉会挨拶

松山東雲女子大学副学長 善本 裕子

COC / COC+シンポジウム2018



| 山川 充夫氏
プロフィール

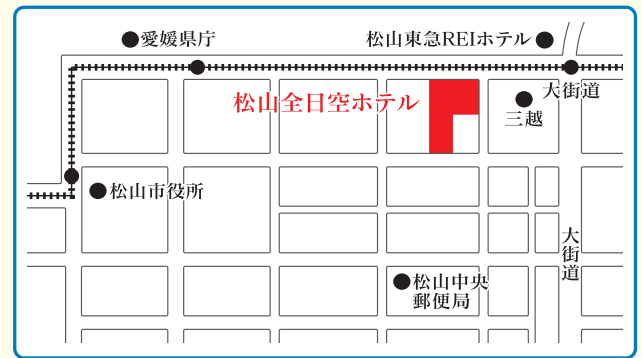
日本学術会議会員（第22期・第23期）、帝京大学経済学部地域経済学科長兼地域活性化研究センター長・教授。
1947年愛知県生まれ、東京大学大学院理学研究科博士課程中退（地理学専攻）、博士（学術・東京大学）。
専門は経済地理学。
単著に『原災地復興の経済地理学』（桜井書店、2013年）、共編著に『Unravelling the Fukushima Disaster』（Routledge 2016. 10）、『Rebuilding Fukushima』（Routledge 2017. 1）がある。

会場

松山全日空ホテル 南館2F
サファイアルーム（松山市一番町3-2-1）

問い合わせ

国立大学法人愛媛大学
社会連携課COC+事務局
TEL:089-927-8827
FAX:089-927-8820
Email:cocplus@stu.ehime-u.ac.jp



**お申し込みは平成30年1月31日（水）までに、
E-mailまたはFAXでお願いいたします。**

愛媛大学社会連携課COC+事務局行

※先着200名

FAX 089-927-8820

平成30年 月 日

事業所名	業種() 〒 -	参加者名	役職()
住所		参加者名	役職()
TEL		参加者名	役職()
E-mail		参加者名	役職()

※ご記入いただきました記載事項は、当事業に利用するほか、各種連絡・情報提供、調査・分析に利用することがあります。